学校番号	３２５

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」（東京書籍）						
副教材等	ペン字のこころ１　（日本書写教育研究会）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・基本的な筆使いから、行書や仮名の運筆のリズム、墨の扱い等を学び、筆の弾力を使いこなした自分らしい文字を書けるようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２ 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	導入 基本運筆の学習	・国語科書写と芸術科書道 ・書体の変遷 ・毛筆の弾力を生かして、基本的な用筆法を学ぶ	○		○	○	a:書写と書道の類似点・相違点、書体の変遷や基本的な用筆法について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、書体の変遷や基本的な用筆法について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
5 6 7	一字書の作品制作	・大筆による一字書制作 ・裏打ち・表装 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:筆の弾力を生かした表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表現している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
8	漢字仮名交じりの書の学習	・ペン字 (夏期休業中の課題)	○		○		a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。	観察 提出作品
9	行書の学習 鑑賞	・「蘭亭序」臨書 ・書道コンクール出品 ・文化祭書道展鑑賞	○		○	○	a:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c:筆の弾力を生かした用筆方法を身につけ表現している。 d:互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

10 11	行書創作の学習 刻印作り	・カレンダー作品 制作 撰文 集字 草稿制作 マーブリング 清書 押印 裏打ち ・発砲スチロール印	○	○	○		a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:行書のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
12	生活の中の書 鑑賞	・年賀状 ・ペン字 (冬期休業中の課題) 書道展鑑賞		○	○		b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:ボールペンや筆ペンの技法を身に付け表している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1 2 3	仮名の学習	・仮名の成立 用具・用材 基本運筆 単体「いろは」 連綿 ・「高野切第三種」臨書 ・短冊作品	○		○	○	a:仮名の美(連綿、散らし書きなど)や墨色・墨量(潤渇)について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c:基本的な連綿や散らし書きの技能を身に付け表している。 d:墨色や墨量の変化を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。